

【保護者用】

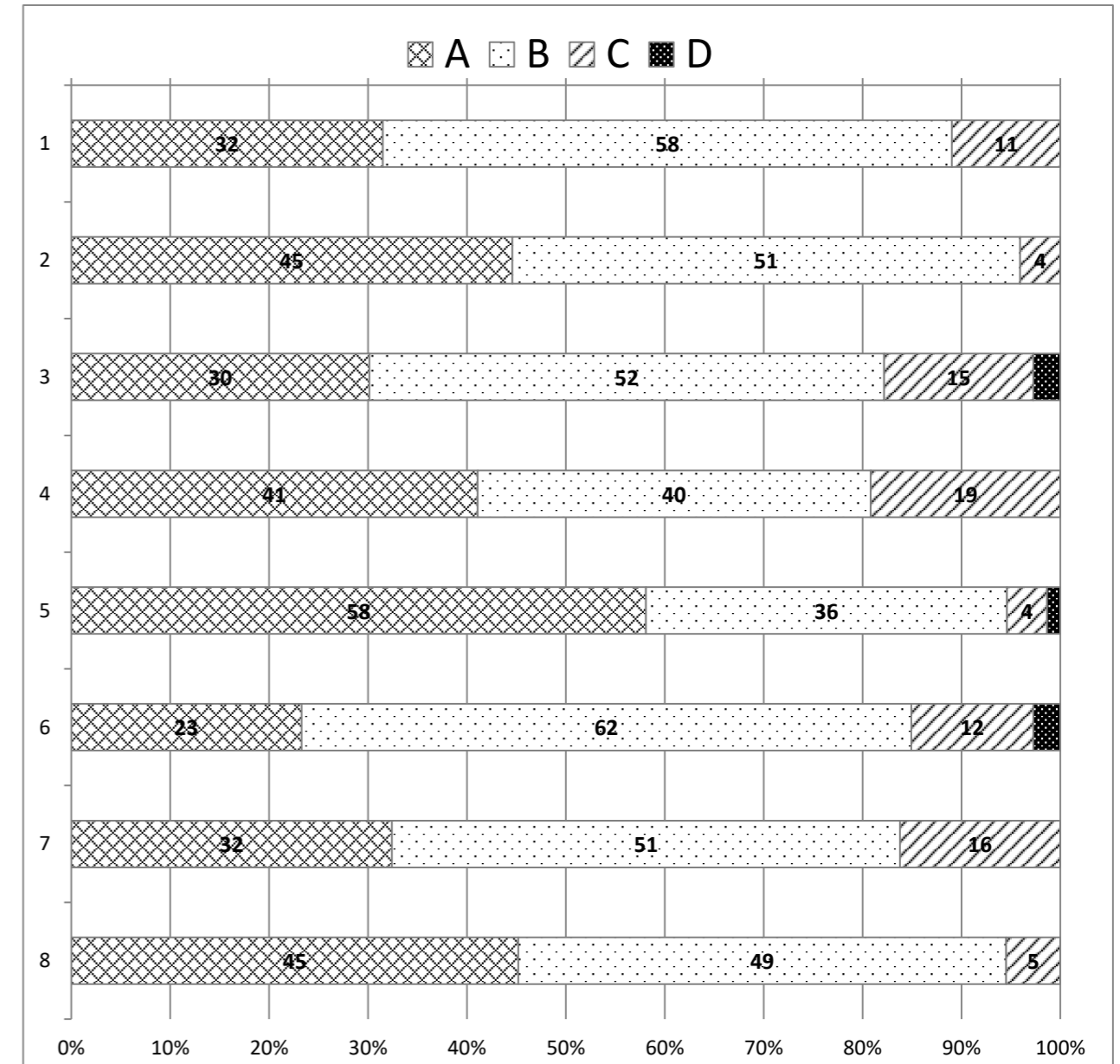
回答者数74名（74名中） 回収率100%

令和4年度 よりよい六角小学校にするためのアンケート集計結果

A 十分達成 B おおむね達成 C やや不十分 D 不十分

項目	質問内容	A	B	C	D	点数	評定	達成度	
1 学校の教育目標	① 学校の目指す子どもの姿や学校教育目標を知っている。	人数	23	42	8	0	80	B	89 %
		%	32	58	11	0			
2 確かな学力	② お子さんは、学校の授業は分かりやすいと言っている。	人数	33	38	3	0	85	A	96 %
		%	45	51	4	0			
	③ お子さんは、家庭学習の習慣が身に付いている。	人数	22	38	11	2	77	B	82 %
		%	30	52	15	3			
3 心の教育	④ お子さんは、家族や地域の人などに、自分から進んであいさつをしている。	人数	30	29	14	0	80	B	81 %
		%	41	40	19	0			
	⑤ お子さんは、安心して学校生活を送っている。	人数	43	27	3	1	88	A	95 %
		%	58	36	4	1			
⑥ お子さんは、お手伝いなどの自分の役割に責任をもって取り組んでいる。	人数	17	45	9	2	76	B	85 %	
	%	23	62	12	3				
4 健康・体力づくり	⑦ お子さんは、望ましい生活習慣(早寝・早起き・朝ごはん・歯みがき)が身に付いている。	人数	24	38	12	0	79	B	84 %
		%	32	51	16	0			
	⑧ お子さんは、自らの安全(交通安全、けがなど)に気をつけて生活をしている。	人数	33	36	4	0	85	B	95 %
		%	45	49	5	0			

【 評定 … A : 85点以上、B : 84~75点、C : 74点以下 】



【保護者アンケートの結果より】

- 前回(昨年度2月実施)と比較すると、A評定が一項目(②)増えてはいるものの、まだまだB評定が多く、それぞれの取組について見直し、改善していく必要がある。
- 家庭学習や手伝い、生活習慣に関する項目が特に低い。家庭との連携を図りながら、学校では子どもたちが主体的に家庭での学習や生活に取り組めるような働きかけや指導に引き続き取り組んでいく。
- あいさつに関しては、家庭や地域でも進んでできる児童を育成するために、習慣化を図るための取組をこれまで以上に実践していく。

【児童アンケートの結果より】※アンケート結果は裏面にあります。

- 前回(昨年度2月実施)とは、児童やアンケート項目が多少変わっているため、単純に比較はできないものの、④(家庭学習)や⑫(歯みがきなど)については、B評定がA評定になり、よくなったと感じている児童が、やや多くなっていることがうかがえる。
- 今回から「よいところ見つけ」を⑧(友だち)と⑨(自分)に分けてアンケートを採った結果、「友だち」に比べて「自分」に関しての結果が低かった。日常の学習活動や体験学習の中で、児童が自分のよさを発見できるような取組を行っていくことで、自己肯定感を高めていきたい。